# .令和４年度　滝沢市商工会経営発達支援計画事業評価

評価基準　Ａ：目標を達成することができた（100%以上）、Ｂ：目標を概ね達成することができた（80%～99%）、Ｃ：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）、Ｄ：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

<table>
<tr><th>経営発達支援事業の目標</th><th>実施した事業</th><th>事務局評価</th><th>委員会評価</th></tr>
<tr><td>
３－１．地域の経済動向調査に関すること<br>
（目標）
<table>
<tr><th>項　　目</th><th>現行</th><th>4年度</th><th>5年度</th><th>6年度</th><th>7年度</th><th>8年度</th></tr>
<tr><td>地域の経済動向分析の公表回数</td><td>－</td><td>1回</td><td>1回</td><td>1回</td><td>1回</td><td>1回</td></tr>
<tr><td>景気動向分析の公表回数</td><td>－</td><td>2回</td><td>2回</td><td>2回</td><td>2回</td><td>2回</td></tr>
</table>
</td><td>
・地域の経済動向分析公表（1回）<br>
国のビックデータ「RESAS」(地域経済分析システム)を活用して地域の経済動向を分析し、レポートとして年1回公表した。<br>
・景気動向分析の公表（2回）<br>
いわぎんリサーチ＆コンサルティングのマンスリーレポートの「岩手県内経済の動き」や県保証協会「保証月報」、県商工会連合会「中小企業景況調査報告書」等の外部調査データを収集・活用し、市内の景気動向を分析し、レポートとして年2回公表した。
</td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td>
３－２．需要動向調査に関すること<br>
（目標）
<table>
<tr><th>項　　目</th><th>現行</th><th>4年度</th><th>5年度</th><th>6年度</th><th>7年度</th><th>8年度</th></tr>
<tr><td>①自店舗、朝市を活用したニーズ調査対象事業者数</td><td>－</td><td>3社</td><td>3社</td><td>3社</td><td>3社</td><td>3社</td></tr>
<tr><td>②大学生に対するニーズ調査対象事業者数</td><td>－</td><td>3社</td><td>3社</td><td>3社</td><td>3社</td><td>3社</td></tr>
<tr><td>③展示会、商談会でのバイヤーニーズ調査対象事業者数</td><td>－</td><td>3社</td><td>3社</td><td>3社</td><td>3社</td><td>3社</td></tr>
</table>
</td><td>
・自店舗、朝市を活用したニーズ調査（BtoC）<br>
下記日程によりアンケート調査を実施した。3社<br>
10月 2日 巣子朝市 1社㈲関添食品工業）<br>
10月23日 柳沢朝市1社(ちいさなたね)<br>
12月16日自店舗1社(Café Wagtail)<br>
ニーズ調査結果をフィードバックし、今後商品をブラッシュアップする際に参考にしてもらうこととした。<br>
・大学生を対象としたニーズ調査（BtoC）<br>
下記日程により、岩手県立大学生を対象にアンケート調査を実施した。(3社)<br>
11月 4日　1社（㈱みちのくオート）
</td><td>A</td><td>A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>経営発達支援事業の目標</th><th>実施した事業</th><th>事務局<br>評価</th><th>委員会<br>評価</th></tr>
<tr><td></td><td>11 月 11 日　1 社（LanguageFactory）<br>11 月 18 日　1 社（AGUICIANT）<br>ニーズ調査結果を事業者にフィードバックし、ネット販売等を想定した若年層向け新商品の開発に役立ててもらった。<br>・展示会・商談会でのバイヤーニーズ調査（BtoC）<br>商談会開催時に岩手県産㈱のバイヤーを召喚し、出展社の商品・製品に対する需要動向や商品ニーズについて聞き取り調査を実施した。12 月 21 日　5 社（㈱初駒、伊藤牧場、岩手ガーリック㈱、マル庄、㈲九戸屋肉店）</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>４．経営状況の分析に関すること<br>（目標）<br><table><tr><th>項　　目</th><th>現状</th><th>4 年度</th><th>5 年度</th><th>6 年度</th><th>7 年度</th><th>8 年度</th></tr><tr><td>経営分析件数</td><td>－</td><td>60 件</td><td>60 件</td><td>60 件</td><td>60 件</td><td>60 件</td></tr></table></td><td>・分析件数　61 件<br>マル経 27　持続化補助金 15　経営革新計画 4<br>事業再構築補助金 3　経営力向上計画 2<br>先端設備等導入計画 6　ものづくり補助金 1<br>ローカルベンチマーク 3<br>主に各種補助金等申請時に SWOT 分析等を用い分析した。</td><td>A</td><td>A</td></tr>
<tr><td>５．事業計画策定支援に関すること<br>（目標）<br><table><tr><th>項　　目</th><th>現行</th><th>4 年度</th><th>5 年度</th><th>6 年度</th><th>7 年度</th><th>8 年度</th></tr><tr><td>(1)事業計画策定件数</td><td>－</td><td>35 件</td><td>35 件</td><td>35 件</td><td>35 件</td><td>35 件</td></tr><tr><td>(2)創業計画策定件数</td><td>－</td><td>5 件</td><td>5 件</td><td>5 件</td><td>5 件</td><td>5 件</td></tr><tr><td>(3)事業承継計画策定件数</td><td>－</td><td>5 件</td><td>5 件</td><td>5 件</td><td>5 件</td><td>5 件</td></tr></table></td><td>・事業計画策定件数　63 件<br>マル経 26　持続化補助金 15　経営革新計画 4<br>事業再構築補助金 3　経営力向上計画 2<br>先端設備等導入計画 6　ものづくり補助金 1<br>DX 推進 6<br>・創業計画策定件数　1 件<br>・事業承継計画策定件数　30 件</td><td>B</td><td>B</td></tr>
</table>

| 経営発達支援事業の目標 | 実施した事業 | 事務局評価 | 委員会評価 |
|---|---|---|---|
| **6．事業計画策定後の実施支援に関すること**<br>（目標） | ・フォローアップ対象事業者数　63 社<br>・頻度　252 回<br>・売上増加事業者数　11 社<br>・売上総利益率 5%以上増加事業者数　10 社<br>商工会で決算指導を行っている事業所の中から対象事業者をピックアップし、令和 3 年と令和 4 年を比較した。 | B | B |
| **7．新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること**<br>（目標） | ・地元消費者を対象としたテスト販売支援<br>下記日程により支援<br>10 月 2 日 巣子朝市 1 社㈲関添食品工業)<br>3,240 円<br>10 月 23 日 柳沢朝市 1 社(ちいさなたね)<br>1,500 円<br>12 月 16 日自店舗 1 社(Café Wagtail)<br>1,200 円<br>・展示会、商談会出展事業(ミニ商談会)<br>商談会開催のほか、事前・当日・事後指導を実施し、市場での商品レベルの把握と流通のための適正な食品表示を含めたパッケージ等についてアドバイスした。<br>12 月 21 日 商談会(出展 5 社、成約 2 社)<br>11 月 8 日　事前指導(4 社) | B | A |

| 項　　目 | 現行 | 4 年度 | 5 年度 | 6 年度 | 7 年度 | 8 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| フォローアップ対象事業者数 | － | 45 社 | 45 社 | 45 社 | 45 社 | 45 社 |
| 頻度（延べ回数） | － | 180 社 | 180 社 | 180 社 | 180 社 | 180 社 |
| 売上増加事業者数 | － | 20 社 | 20 社 | 20 社 | 20 社 | 20 社 |
| 売上総利益率 5%以上増加事業者数 | － | 5 社 | 5 社 | 5 社 | 5 社 | 5 社 |

| 項　　目 | 現行 | 4 年度 | 5 年度 | 6 年度 | 7 年度 | 8 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①地元消費者を対象としたテスト販売支援件数 | － | 3 件 | 3 件 | 3 件 | 3 件 | 3 件 |
| 売上額／社 | － | 3 万円 | 3 万円 | 3 万円 | 3 万円 | 3 万円 |
| ②展示会、商談会出展事業者 | － | 3 社 | 3 社 | 5 社 | 6 社 | 6 社 |
| 成約件数／社 | － | 1 件 | 1 件 | 1 件 | 1 件 | 1 件 |
| ③インターネット販売の支援件数 | － | 3 件 | 3 件 | 3 件 | 3 件 | 3 件 |
| 売上額／社 | － | 3 万円 | 3 万円 | 3 万円 | 3 万円 | 3 万円 |

| 経営発達支援事業の目標 | 実施した事業 | 事務局評価 | 委員会評価 |
|---|---|---|---|
| | 12 月 21 日　当日指導(5 社)<br>2 月 3 日　事後指導(3 社)<br>・インターネット販売の支援<br>(県立大学と連携した支援)<br>下記日程によりモデル企業のネット販売等販路開拓に係る企画案を最終プレゼンで提案、事業性を検証。<br>事業成果売上額については、現在事業継続中であり、事業効果検証に至らなかった。<br>①1 月 12 日 1 社（㈱みちのくオート）<br>企画案第 1 位：グループ 9「お客満ち満ち!みちのくオート!!」<br>※4 月中に Instagram アカウント作成予定<br>②1 月 20 日 1 社（LanguageFactory）<br>企画案第 1 位:グループ 12「ALCL(American×Learning×Café×Local)」<br>※3 月に Instagram、Google、LINE 公式アカウント作成し、アンケートを参考にレギュラー・モーニングメニューを試作中。<br>③1 月 27 日 1 社（AGUICIANT）<br>企画案第 1 位：グループ 21「産後ママのダイエット大作戦」<br>※産婦人科への営業を 4 月より開始。マスクが外れる時代に向けてフェイシャルエステを 4 月より開始予定。 | | |

| 経営発達支援事業の目標 | 実施した事業 | 事務局評価 | 委員会評価 |
|---|---|---|---|
| ８．事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること<br>**（事業内容）**<br>**① 滝沢市商工会経営発達支援計画事業評価委員会の開催（年３回）**<br>現状を踏まえ、年度当初（前年度評価）と中間及び年度末の３回会議を開催する。また、引き続き外部専門家等を招聘して評価をいただくとともに、経営発達支援計画事業の進捗状況の報告及び事業の実績・結果について委員会に具申し、その内容について意見を頂戴する。その後、事業の内容について検証、改善を図ることにより、ＰＤＣＡサイクルを適切に回していく。 | ・滝沢市商工会事業評価会議の開催：3 回<br>第 1 回 8 月 22 日<br>第 2 回 12 月 26 日<br>第 3 回　3 月 28 日<br>・事業の内容について検証、改善<br>会議での意見を基に事業実施後に担当者レベルで検証や改善について話し合い、次のアクションに繋げた。<br>① 商談会や消費者モニター調査の結果を踏まえ、専門家による出展社商品のブラッシュアップを実施<br>② 専門家に依頼し、REASAS 等を活用して地域の実情に即した分析報告書作成 | A | A |
| ９．経営指導員等の資質向上等に関すること<br>**（事業内容）**<br>**① 外部研修への参加及び資質向上の取組**<br>多種多様な支援ニーズと高度化に対応するための支援能力の一層の向上に向けて、引き続き、経営指導員、経営支援員の小規模事業者の事業計画策定、生産性向上や事業承継など小規模事業者の実態に応じた伴走型支援スキル向上を目指す。<br>このため、中小企業大学校が実施する外部研修については、経営指導員のみならず、経営支援員の派遣も行い、事業計画策定に向けた分析手法や支援スキルの習得を図り、滝沢市商工会の支援能力の底上げを図る。さらに、岩手県商工会連合会のエキスパートバンク等専門家派遣を活用し、小規模事業者の相談において、職員が専門家に同行し、指導・助言等のノウハウ（伴走型支援のスキル向上や事業計画策定に向けた分析手法や | ・中小企業大学校が実施する外部研修<br>6 月 6 日～7 月 1 日　　1 名<br>10 月 12 日～14 日　　1 名<br>・エキスパートバンク等専門家派遣事業の活用　35 件<br>（内訳）事業計画策定 19　商品開発 1<br>販路開拓 2　事業承継 1　労務 3<br>IT 8　接客 1 | B | A |

| 経営発達支援事業の目標 | 実施した事業 | 事務局評価 | 委員会評価 |
|---|---|---|---|
| 支援の進め方など）の習得に努め、個社支援による組織的な支援能力の向上を図る。<br>**② 実践による全職員の資質向上**<br>支援経験の豊富な岩手県内の商工会地区を広範囲にカバーする岩手県商工会連合会の広域経営指導員や経営指導員と経営支援員とがチームを組成し、巡回指導や窓口相談の機会を活用したＯＪＴを実施する。また、企業に対する専門家派遣支援の際は、職員が同席し、そのスキルを学ぶこととする。さらに、３名のプロジェクトマネージャー（所定の養成研修を終了し、高度で専門的な経営課題に対応可能な人材として、岩手県商工会連合会会長から認定を受けた職員）を中軸として、事業計画策定について、ＯＪＴ等により職員個々の能力を高め、全職員が伴走型の支援ができるように組織機能強化を図る。<br>**③ 支援ノウハウ等情報の共有化**<br>職員の異動があった場合でも支援体制を維持するために、個社支援に係る分析結果や支援経過、結果等の情報は、支援等を引き継ぐ経営指導員や経営支援員にとって極めて有用な情報となる。ついては、事業者情報や指導内容や事業者情報について、滝沢市商工会の経営支援基幹システム BIZ ミル（事業所基本情報・指導記録管理）を活用し、一元的な管理を行う。また、経営指導員及び経営支援員が伴走型支援を担当している小規模事業者事例や進捗状況を報告する「経営発達ミーティング」（月２回、年間 24 回）の開催を通して、職員間の支援ノウハウの共有や計画目標達成にむけたアドバイス等を相互に行い、支援能力の強化を図る。<br><br>**１０．他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること**<br>**（事業内容）**<br>**① 滝沢市商工振興実務者連絡会の開催（年１回）**<br>滝沢市商工会と滝沢市は市の商工業の振興を図るため、「滝沢市商工振興実務者連絡会」を平成 17 年（2005）から設置している。会議は、滝沢市商工会職員と滝沢市経済産業部企業振興課、観光物産課、農林課職員とで年１回開催している。会議では、「産業振興」、「地域振興」、「連携事業等」について話し合っていることから、引き続きこ | ・実践による全職員の資質向上<br>持続化補助金経営計画作成支援：職員 6 人<br>経営革新計画作成支援：職員 3 人<br>持続化補助金や経営革新等の案件を持った OJT 対象者や他の職員に対して、広域指導員や先輩職員がマンツーマンで指導した。<br><br>・経営支援履歴やその定量的把握、財務諸表のデータ蓄積に商工イントラを活用<br>・経営発達ミーティング年間 24 回<br>伴走型支援をとおして得た気づきや問題点、改善方法を職員間で話し合い、支援ノウハウの共有に繋げた。<br><br>・滝沢市商工振興実務者連絡会の開催（1 回）<br>10 月 19 日開催<br>滝沢市経済産業部と互いの事業について意見交換をし、課題の共有とコロナ禍での連携を図った。 | A | A |

| 経営発達支援事業の目標 | 実施した事業 | 事務局評価 | 委員会評価 |
|---|---|---|---|
| の会議を活用すると共に、市役所の担当職員と経営指導員等滝沢市商工会スタッフの連携を強化し、合意された連携の方策及び役割について、各々の組織における方針・方向性に照らし合わせ、滝沢市商工会においては、市内企業が求めている具体的な支援課題に対応すると共に、職員の支援能力の構築を図る。<br>② 市内の大学との連絡会の開催（年１回）<br>滝沢市商工会と市内２大学（盛岡大学、岩手県立大学）との連携ネットワークの構築に向けて、知的資源の活用、大学のシーズと地域のニーズのマッチングなど、市内商工業に対する意見交換の機会を設け、産学の協働、地元就職、インターンシップ等を促すための協議を行う。また、個別課題については、担当レベルでの検討を進めるものとし、一連の取組を通じて、連携による商工業発展に向けた共通認識を得ると共に、市内の企業に対する支援能力の向上を図る。 | ・市内の大学との連絡会の開催（年１回）<br>オンラインで岩手県立大学、盛岡大学担当者との意見交換会を実施した。<br>(市内２大学との意見交換会)<br>3 月 22 日　オンライン開催<br>テーマ:「学生の滝沢市内就労意欲の向上並びにインターンシップ促進に向けた連携について」 | A | A |
| １１．地域経済の活性化に資する取組に関すること<br>（事業内容）<br>① 滝沢市観光イベント事業の連携及び情報発信（年３回）<br>チャグチャグ馬コまつり、スイカまつり、滝祭（ＴＡＫＩ-ＳＡＩ）<br>滝沢市、滝沢市観光協会、滝沢市商工会の３団体が連携を密にし、関係人口の増加及び地域の活性化を目的とした観光イベントを年３回開催する。<br>滝沢市商工会は実行委員会の事務局及び構成員として、各イベントの賑わい創出のための出展の取りまとめや関係団体との連携によるホームページ、ＳＮＳ等を活用した情報発信を強化するための支援を通して市内の交流人口増加と地域活性化を図る。<br>② 企業間連携フォーラムの開催（年２回）<br>滝沢市商工会と市が共催し、市内における企業間の連携及び新型コロナウイルス感染症により疲弊し、厳しい経営環境にある小規模事業者のＩＣＴ・ＩｏＴ導入による生産性向上を推進するため、誘致したＩＴ・物流・製造企業や大規模事業所等との新た | ・チャグチャグ馬コまつり<br>6 月 11 日開催<br>・スイカまつり<br>8 月 11 日開催<br>・滝祭（ＴＡＫＩ-ＳＡＩ）<br>8 月 27 日～28 日開催<br>ホームページや SNS を活用して、事前周知や事後報告を行った。<br><br>・企業間連携フォーラムの開催<br>イノベーションサマーフォーラム<br>7 月 14 日開催<br>・SDTs デー | | |

| 経営発達支援事業の目標 | 実施した事業 | 事務局評価 | 委員会評価 |
| --- | --- | --- | --- |
| な交流の場を設けるため各種フォーラムを開催する。<br>**③ 滝沢市商工会青年部と連携した仕事マッチングフェアの開催（年１回）**<br>市内商工業者の認知度の向上や地元企業への定着率の向上を図り、滝沢市での就業人口の確保につなげることを目的として、商工会青年部と連携し実施する。滝沢市商工会は、内部組織であり事務局を担っている、若手経営者及び若手後継者の集まりである滝沢市商工会青年部を中心に、滝沢市、市内教育機関と連携を図り、この事業を実施することで、人材確保の面から地域経済の活性化に寄与する。<br><br>**総合評価** | 2 月 23 日開催<br><br>・仕事マッチングの開催（1 回）<br>下記日程で開催した。<br>2 月 19 日（日）<br>参加企業数 23 社　来場者 77 名(延べ企業訪問者数 188 名)<br>終了後の個別対応 34 名　採用予定者 10 名 | B | B |